

踏切の一時停止

作成日：2018年8月4日

カナダのバンクーバーに行って驚いたことがある。自動車が踏切で一時停止どころか徐行もせずに通常の速度で走り抜けている。考えてみるに踏切には遮断機がある、遮断機が降りていれば止まればいいのである、遮断機が降りていないのにいちいち一時停止して左右確認する必要はない。こう言うと日本人は言うだろう。遮断機は機械だからエラーが起こりうる。念のために一時停止して確認する必要がある。この論理を推し進めると次のようになる。信号機は機械だからエラーが起こりうる。念のため一時停止して確認する必要がある。すると信号機の多い市街地ではたびたび一時停止してなかなか進まない。大渋滞が起こる。この大渋滞を避けるために青信号なら左右確認の必要もなく通常の速度で走り抜けてよいことになっているのだろう。信号機も遮断機も同じ機械である。それなら同じように取り扱うべきである。遮断機のほうが信号機よりずっとエラーが多いと言うのだろうか。一步譲っても踏切で一時停する必要はない。徐行で十分と思う。踏切で一時停止という法律は変えるべきでないか。